草地改良技術等の普及に関する研修会開催要領
〈オンライン方式〉

1　趣　旨

近年、労働力不足や夏枯れ等により国内飼料生産への取組が低下する中、地域の実情に適した国産粗飼料の生産・利用を拡大するためには、「食料・農業・農村基本計画」及び「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」に示されたスマート農業技術等を活用した省力的な生産管理や温暖化に対応した生産性向上への取組みが重要となっている。

このような情勢を踏まえ、新たに開発された大規模混播草地のマメ科牧草割合のスマート植生評価法、近年の気象変動に対応した作柄への影響抑制に着目した混播技術や東北地方及び都府県高冷地における寒地型牧草の草種選定及び栽培ポイント等について研修会を行う。

2　主　　催　一般社団法人日本草地畜産種子協会

3　参集範囲　生産者、農協、農協連、市町村、関係機関・団体等

4　日　　時　令和８年 11 月４日（水）13:30～16:00

5　次　　第

（１）開　　会　　13:30～13:35(05)

（２）基調講演　　13:35～14:25(50)

「ドローン・AI・画像解析を活用した草地・飼料作物のスマート評価技術」
― 混播草地の植生評価・育種評価・収量推定 ―

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構

北海道農業研究センター 寒地酪農研究領域 飼料作物育種グループ長
秋山（あきやま）　征夫（ゆきお）　氏

〈要旨〉混播草地におけるマメ科牧草割合の AI 推定、画像解析・AI を用いた育種形質の評価、ドローン SfM による収量推定など、草地・飼料作物を対象としたスマート評価技術について講演する。

（３）情勢報告　　14:25～14:45(20)

「令和９年度予算概算要求の概要」

農林水産省 畜産局 飼料課 課長補佐（草地整備事業班担当）
千嶋（ちしま）　崇志（たかし）　氏

〈要旨〉草地基盤に立脚した足腰の強い畜産経営を育成するための令和９年度草地改良関係予算概算要求の概要について報告する。

（４）事例紹介

ア「北海道におけるオーチャードグラスとペレニアルライグラスの混播事例」
14:45～15:15(30)

酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類 草地・飼料作物学研究室 教授
岩渕（いわぶち）　慶（けい）　氏

〈要旨〉暑熱など気象条件による作柄への影響を抑制しつつ難防除雑草の侵入を防ぎ長期間良好な植生を維持することができるOGとPRの混播事例を紹介する。

イ「寒地型牧草の草種選定及び栽培のポイント(主に東北地方および都府県高冷地向け)」　15:15～15:45(30)

雪印種苗株式会社 千葉研究農場 農場長
谷津（やつ）　英樹（ひでき）　氏

〈要旨〉夏の猛暑など近年の気象変動に対応した東北地方及び都府県高冷地を対象とした寒地型多年生牧草の草種選定や栽培のポイントを紹介する。

ウ「草地改良技術等普及対策の実施による効果について」
― 草地改良技術等普及対策優良事例集(令和６年度)より ―　15:45～16:00(15)

幕別町農業協同組合 総務部 営農振興課 企画開発係
高野（たかの）　大祐（だいすけ）　氏

〈要旨〉農林水産省補助事業を活用し、難防除雑草の繁茂・裸地化の進行により生産性が低下した草地を高位生産性の草地へ転換した事例を紹介する。

（５）閉　会

６　参加料：無料。ただし、インターネットに接続できるパソコン又はモバイルデバイス（内蔵スピーカー、又は外付けイヤホン）は参加者にてご用意願います。

７　視聴方法：Zoomにて実施いたしますので、Zoomに接続できる環境をご準備ください。
※ 後日、株式会社マイナビから参加予約者に向けて視聴方法のご案内を行う予定です。

８　参加申込み方法
（１）マイナビ農業サイト(URL:https://agri.mynavi.jp/2026_09_14_584054/)からお申込みください。
申込期間：令和８年９月14日（月）から11月２日（月）

（２）参加予定枠　200名程度

９　問い合わせ先
（１）Web研修会の実施内容に関すること
一般社団法人日本草地畜産種子協会 草地畜産部　担当：坂本香菜、井上りりか
（TEL：03-3251-6501
E-mail：k-sakamoto135@souti-fsa.or.jp、r-inoue140@souti-fsa.or.jp）

（２）Web研修会への参加方法及びWebサポートに関すること
株式会社マイナビ 農業活性事業部　担当：谷藤、諸富
（TEL：070-4847-3357　E-mail：agri-webcast@mynavi.jp）